

今日のキーワード 続く「財政再建」への取り組み(ブラジル)

ブラジル政府の財政収支は2014年に大幅に悪化し、利払いを除く収支(プライマリー収支)が名目GDP比▲0.6%の赤字に転落しました(2013年は同+1.8%の黒字、いずれも国際通貨基金のデータによる)。ルセフ大統領は、2015年1月から2期目(任期4年)に入るにあたり、財務大臣に市場からの信任の厚いレビ氏を起用し、経済・財政政策を刷新しています。

ポイント1 財政再建に向けた取り組みを強化 補助金の削減、増税を進める

- 過去に財政収支が悪化した主な要因としては、景気低迷による税収減、物価上昇による支出増、特定業種の振興を目的とした場当たりの減税策、電力など公共料金を低水準に抑えるための補助金などが挙げられます。こうした状況を踏まえ、レビ氏が財務相に就任して以降、政府は増税を盛り込んだ2015年度予算案を1月に策定したほか、補助金の削減を狙い電気料金の値上げを認めました。
- 加えて、ルセフ大統領は、3月下旬に財政再建に向けあらゆる手段を講じる姿勢を明らかにし、4月に議会の有力者を政府と議会の調整役に起用しました。政府が歳出削減などの厳しい政策を進める上で、議会での審議円滑化を図る狙いです。

ポイント2 今年度予算の修正案を発表 歳出削減で収支見込みを維持



【2015年度予算 修正案のポイント】

経済見通し	(前年比、%)	
	従来	修正後
実質GDP成長率	+0.77	▲1.20
消費者物価指数上昇率	+6.49	+8.26

(億レアル)	
財政収支見込みの修正	±0
歳入の不足	▲651
義務的支出の拡大	48
裁量的支出の削減	▲699



(出所)ブラジルの企画・予算管理省の資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

- ブラジル政府は5月22日、裁量的支出を約700億レアル削減する今年度予算の修正案を発表しました。
- 成長率見通しの下振れや物価高などに伴い、歳入の減少、義務的支出の増加、財政収支の悪化が見込まれます。そのため、修正予算案では裁量的支出を削減することにより、従来の収支見込みを維持する計画です。これでプライマリー収支の目標は663億レアルの黒字(名目GDP比1.1%に相当)に維持されました。
- 修正案は今後国会で審議される見込みであり、有力者の調整などによる円滑な成立が期待されます。

今後の展開 予算見直し後もインフラ投資の継続などで景気に配慮する姿勢

■景気下振れ懸念などからブラジル市場は軟調
修正予算案発表の翌週、ブラジルの株式、債券、通貨は、いずれも軟調な推移になりました。財政再建に向けた政府の強い姿勢が示され、国債の格下げ懸念が後退した一方、インフラ事業への投資縮小などによる景気下振れが懸念されたためと見られます。

■政府の配慮に国民の理解が広がるかに注目
政府は、歳出削減案では旅費や物品購入などの費用削減に重点を置くとの方針を示したほか、インフラ事業に関する入札を近々行う考えも示し、景気への懸念を和らげようとしています。こうした景気に配慮する姿勢に国民の理解が広まるかが今後注目されます。

ここもチェック! 2015年05月19日 最近の指標から見るブラジル経済(2015年5月)
2015年04月03日 ルセフ政権、財政と景気の再建へ(ブラジル)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。